

# 小須戸公民館報

町館 戸館 須館 公民館  
発行所 小須戸公民館  
発行人 岡 謙 吉  
発行日 毎月 15 日

# リサイクル

## —身近かなリサイクルをみんなの手で—



これが生まれ変わったならば……

「混ぜればごみ、分ければ資源」のキャッチフレーズは皆さんよくご存じのことでしょう。

ごみは分別すれば約50%のものが再利用されます。牛乳パック、新聞紙、空びん、空缶をはじめ、私たちの身近かに再利用されるものが数多くあります。

ごみはどんな方法で資源として活かされ、みんなはどうしたら資源として活かしているかを考えてみましょう。

### リサイクルは地球を守る

リサイクルを進めることは、どのようなメリットがあるのでしょうか。

○リサイクルは廃棄物を減らす。

○リサイクルは限りある資源やエネルギーを節約する。

○リサイクルは地球環境を守る。ごみは出す前に再資源化にとめる工夫をする。ごみを再利用することは限りある資源を大切に

に使い、かけがえのない地球環境を守ることに繋がります。

### ごみ処理の現状

私たちの家から出されるごみの種類の割合は(白根衛生センター調べ)

- 紙・布 四五%
- 生ごみ 三〇%
- ビニール・プラスチック 一〇%
- 燃えないごみ 一〇%
- その他 五%

燃えないごみ 二六七トン

粗大ごみ 一四五トン

○処理別の量

燃却処理量 一、九六九トン

資源化量 二八〇トン

埋立量 八二トン

この数量をみると、運び込まれた量が三、二二二トンで、資源化された量が二八〇トンであり、八・四%が、何らかの資源として生まれ変わっていることになりました。ちなみに新潟県では平成十二年(西暦二〇〇〇年)までに、資源化率を一〇%にするを目標に掲げています。小須戸町の資源化量の二八〇トンを見ると、

## ちよこつと一言 (75)

### 田園風景雑感

新保三

丸山堅一

我が家から望む東の方角。私は、この風景がエラク気に入っている。手前に広がる水田、その彼方に緩やかな曲線を描いてみせる山々の姿、これらが春夏秋冬折々に見せてくれる表情。「生粋の田舎人？」の私にとって、何ものにも替え難い存在である。



ところが最近変わってきたのである。それも急テンポで。403号バイパス、駅裏団地、削り取られた山肌等々。便利さと引き替えて何かを失なっている……などといった「オジン」になつた証拠だ」と言われそうだが、それもシャクなので、精一杯の強がり、そしてあきらめ「うん、時代なんだ……」

### リサイクルはみんなができる

日常生活の中で、ちよつとした心遣いで、ごみを減らし再利用することが出来ます。

小須戸町では、ガラス・せともの類、鉄・缶類、古紙類、粗大ごみ、乾電池、可燃ごみの五種類を決められた日にごみステーションに出すことは、よくご存じのことと思います。

この五種類をキチンと分別して出すことは、回収する側も簡単に作業ができますし、そのままリサイクル業者へ渡されるので、分別をしつかりして、決められた日に出す。これが、だれでも、そしてみんなができる一番大切なリサイクルの第一歩なのです。

### ごみ処理費の節約にも

ごみを燃やしたり、埋め立てて処理をするにも経費がかかります。白根衛生センター管内では、平成五年度において、一世帯あたり一三、五〇〇円もの処理費用がかかっています。リサイクルをすることによって、ごみ処理経費の節約もできるのです。

### リサイクル運動を進めよう

地球上の資源には限りがあります。どんなにお金がかかってもリサイクルしなければならぬ時がくるのです。町のごみ処理のリサイクルも大切ですが、学校、PTA



### 第四十九回県展入選おめでとうございませう

今回は、写真部門で六名の方が入選されました。

- 入選者
- 風間源一郎さん(本町一)
- 風間 忠雄さん(花園町二)
- 斎藤 登市さん(本町四)
- 吉井 久好さん(新保二)
- 徳永 繁さん(新町一)
- 川瀬 博幸さん(矢代田一)

尚、作品紹介は六月号・七月号・八月号でおこないます。

### 読んでつくする豆知識

#### ヤケドは最低十分間は流水で冷やす

ヤケドはすぐに流水で冷やすのが最良の治療法です。最低十分間は冷やすことです。時計を見て確実に冷やすことが大切です。

### 奨励賞 おめでとうございませう

県民芸術祭文芸部門で小須戸川柳会の高橋忠太郎さん(本町四)が奨励賞を受賞されました。

作品 一作 品 風雪に耐えて淀みの無い絆 尊厳の慈悲へ廻わり付く絆

### 第七回 小須戸町内剣道大会結果

- 小学生低学年の部(四年生以下)
- 一位 田沢 詠司(矢代田四)
- 二位 浦井 華子(中央通五)
- 三位 星野 那空(矢代田八)
- 三位 砂井万貴子(新町一)
- ◎小学生高学年の部(五年以上)
- 一位 田中 信洋(諏訪町一)
- 二位 市川 雅史(天ヶ沢二)
- 三位 中村余保子(新栄町五)
- 三位 坂本 一樹(新町四)
- ◎中学生男子の部
- 一位 新井田孝史(矢代田四)
- 二位 田中 直樹(諏訪町一)
- 三位 伊丹 友和(天ヶ沢二)
- 三位 大竹 慎(新栄町三)
- ◎中学生女子の部
- 一位 柳津 幹子(新町三)
- 二位 星田真由美(矢代田五)
- 三位 石井 育兒(矢代田五)
- 三位 浦紗也香(矢代田二)

### 第四十九回 県展入選作品(1)



「二人」 本町一 風間源一郎さん 「会津の鶴ヶ城のほとりでの一ショット。さわやかなカップルの仲むつまじい姿が非常に輝いて見えた。」



「高速高架道来たる」→ 矢代田一 川瀬博幸さん



選で多くのおかえりです。今年もたくさんの方々が参加してください。去年に引き続き、入選作品が発表されました。今年もたくさんの方々が参加してください。去年に引き続き、入選作品が発表されました。

# 第九回 さつきマラソン大会

## みなさんいい汗かきました!!



参加者全員には、記録証とさつきの花木が配られ、上位入賞者には金・銀・銅メダルが渡されました。

入賞者は次のとおりです。(敬称略)

六月五日、恒例の第九回さつきマラソン大会が行われました。当日は天候に恵まれ、参加者八十三名(六才から八十五才まで)のみならず元気の脚力を披露し、事故もなく全員完走しました。

参加者全員には、記録証とさつきの花木が配られ、上位入賞者には金・銀・銅メダルが渡されました。

入賞者は次のとおりです。(敬称略)

▼親子マラソンの部・三km  
一位 岡田 悠 藤晴組 12分29秒(新潟市)  
二位 武田悠嗣・敬幸組 14分38秒(横川浜)  
三位 金子琢哉・淳之組 15分45秒(亀田町)

▼小学生男子の部・三km  
一位 金子裕亮 12分22秒(亀田町)  
二位 森田雅人 12分39秒(〃)  
三位 長沢友人 12分40秒(横川浜)

▼小学生女子の部・三km  
一位 齊藤 幸 13分40秒(宇字)  
二位 関川幸恵 14分00秒(松ヶ丘)  
三位 小林淑子 14分03秒(中央町)

▼中学生女子の部・五km  
一位 穴沢ゆか 26分46秒(天田町)

▼一般女子の部・五km  
一位 齊藤幸子 27分03秒(新潟市)  
二位 吉田裕子 28分14秒(〃)

▼一般男子の部・十km  
一位 米本 勇 34分39秒(横越村)  
二位 小林 洋 39分35秒(亀田町)  
三位 関川利栄 40分55秒(新潟市)

## 5月の ナイスショット



13日 花いっぱい教室  
花を育てる基本についてを学習しました。



14日 親子チャレンジ教室  
さつまいもさん早く大きくなってね。



17日 小須戸小3年生社会探訪  
(公民館) 公民館の部屋はいくつありますか?

### 「葉草の知識を学ぼう」

期日 六月二十五日(土)  
午後一時三十分から三時  
会場 老人福祉センター  
講師 和泉 修治先生  
(常盤高校長)

### 16%映写機操作認定講習会

夏休みに向け、この機会に是非受講して下さい。

期日 七月三日(日)  
午前九時から午後四時まで  
会場 中央公民館二階視聴覚室  
受講料 一人四五〇円(資料代) 持参するもの  
筆記用具・昼食  
印鑑(忘れないうちに)  
申込先 中央公民館  
(〇三三―二三四)  
申込べ切 六月二十七日(月)

### 七月のおもしろ雑学講座

「ことわざおもしろ帳」

期日 七月八日(金)  
午後七時二十分から九時  
会場 中央公民館二階会議室  
お話 大塚 正勇さん  
(元金津小学校長)

### 第十四回小須戸町民謡連盟 発表会

期日 七月十日(日)  
午前十一時開演  
入場無料  
会場 中央公民館二階ホール  
賛助出演 カラオケクラブ

### 第十六回民謡発表会発表大会

期日 七月十七日(日)  
午前十一時三十分開演  
入場無料  
会場 矢代田小学校体育館

### 「御礼」

皆さんから、ご協力をいただいています。「リングプル」(合計一七七部)を亀田町若葉の家へ寄贈いたしました。ありがとうございます。

### 「新保分館」

出雲崎町の史跡をたずねて

期日 六月二十六日(日)  
午前八時三十分分館  
参加費 一人二〇〇円  
(昼食代・拝観料)  
申込先 川瀬文具店(〇三三―二三八一)  
三三三―川瀬 聡(〇三三―四三七四)・渡辺三郎(〇三三―八二八七)まで  
申込期限 六月二十三日(木)  
※定員になり次第締切ります。

### 「小須戸分館」

第九回小須戸分館野球大会

期日 七月九日(土)  
七月十日(日)  
予備日 七月十六日(土)  
七月十七日(日)  
午後六時三十分から十時まで  
会場 スポーツ公園グラウンド

### スポーツ振興基金

利子の運用が開始される

町民の皆さんの絶大な協力で誕生したスポーツ振興基金が、ちょうど満一歳に達しました。約七百万円近い元金から生まれた預金利子が、いよいよスポーツ振興のために役立てられることになりました。

小須戸町が存続する限り永久に引き継がれ、役立てられていく貴重な町の財産であります。当然のことながら、厳しい管理と公正かつ有効な運用を図らなければなりません。

このために昨年来、小須戸町体育協会が中心となって基金の管理と運用について具体的な協議を重ね、「小須戸町スポーツ振興基金の運用に関する規定」(同 細則)の制定をみるに至りました。なお、この規定は、平成六年四月一日より施行となっております。

詳しいことは「教育委員会社会体育係」にお尋ねください。

### 「会員を募集します」

☆フラワーズの会  
美容と健康に楽しみながら、交友の輪を広げましょう。

活動日 毎週金曜日  
午後七時三十分～九時三十分  
会場 中央公民館二階視聴覚室  
会費 月額千円程度  
指導者 坂井秀一さん(中央町五)  
申込み 中央公民館か佐藤義雄 宅(〇三三―二八二四)まで。  
☆生花クラブ  
期日 毎月第一・三・五曜日  
午後一時三十分から三時三十分まで  
会場 中央公民館会議室  
会費 月十円プラス花代  
指導 夏川チエ先生  
申込み 浦井広美(〇三三―二六四)又は中央公民館へ

### 「これは言いたい!」

＊＊子どもたちに拍手を送ります＊＊

私は、仕事の関係で二二二年小学校の運動会を見られなかったのですが、今年久しぶりに運動会に参加することが出来、ものすごく感激しました。

当日、入場行進から始まり、各種競技に応援にと進められていく中で、子供たちのひたむきな態度や用具を準備していく連携プレーの見事さに、「最後まで全力でがんばりましょう」のテーマをもった運動会、この運動会でのきびきびとした態度など実にさわやかな気持ちで最後まで競技を見させてもらいました。

閉会式では校長先生からの総評で、「運動会は全員で行われ、各係の分担もスムーズに流れ、うまく進んでいましたし、高学年は低学年の生徒を良く見ていた。競技に入る前の準備を一生懸命にやっている姿。暑い中応援団はせいーばいに自分たちの組を盛り上げ、選手を応援し声をかかっている姿が立派で本当にいい運動会でした。」との事。真にそのとおりだと私も感激して胸がジーンとしてしまいました。

こういう姿を見て、私はこの子供たちに負けないよう、あら

### 「こすど短歌会」

歌は別にむずかしい約束、法則などありません。思ったままを言葉にして、公民館の二階学習室で、毎月第四火曜日夜七時半、伊藤敏先生を講師に迎えて作品を互いに講評し合う、たのしい短歌会です。

公民館で誕生した短歌教室がそのまま「こすど短歌会」の愛称になり、九年目を迎えました。会員個人の自由で、中央・地方の短歌会に人會して励む人もあり、各種新聞社主催の全国大会に応募して、それなりの成果もあげており、それぞれの励みになっております。

新聞・雑誌等で歌を読み、何となく美しいというあこがれを感じたら「五・七・五・七・七」に感情をそのまま託してみませんか。素晴らしい歌になると思っています。

歌は日常生活の姿を、素直に、

### 「こすど短歌会」

自然のままに、上手な歌にみせようとしない、とくに鉛筆とノート一冊を持って「豊の上の水練」という言葉のとおり、自然の感情をこぼすに表わせばよいのです。

何かを表現したいと思う人には、得ることが沢山あると思います。年に一度の合同歌集発行もあります。

私達のクラブは「歌でも一つ作ってみたい」と思った人が集まった楽しいクラブです。

### 「こすど短歌会」

柳 素直さが心配になる親心  
遠慮して素直に受ける笹だんご  
素直には乗れぬ話に苦笑い

栗原ひさし

### 「こすど短歌会」

四歳になりし男の孫吾が足や肩をさすりて類  
すりよする  
長き冬抵抗もなく灼熱の土押しあげて小さき  
芽萌ゆ  
潮風に吹き揚げられて抗わぬ鳴は黄の口結び  
て飛べり  
小鳥二羽つがいなるかもビビビと言葉交わ  
しつ庭に降りくる

本多玲子

### 「こすど短歌会」

ゴールデンウィーク補聴器着けてみる  
蛤の酒蒸し賞でつ女客  
子ばなれの越えねばならぬ花は葉に  
川波を繋いでつくす春庭  
娘の家の客となりたる朝寝かな  
たもの木に土鳩のなくや暖かし  
露地香れてよりくらなしの匂ひかな

吉田ミナ  
佐久間久子  
田中美根子  
吉田素奈  
藤井 春  
成田水村  
牧野信雄

### 「こすど短歌会」

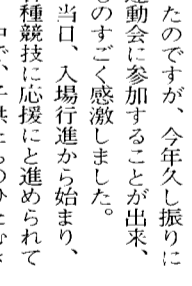
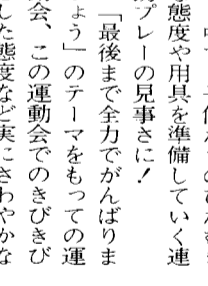
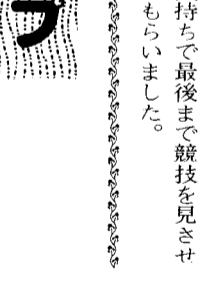
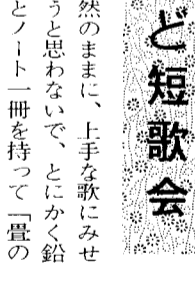
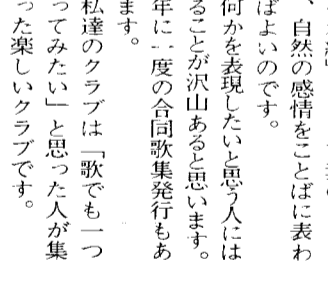
素直さが心配になる親心  
遠慮して素直に受ける笹だんご  
素直には乗れぬ話に苦笑い

栗原ひさし

### 「こすど短歌会」

四歳になりし男の孫吾が足や肩をさすりて類  
すりよする  
長き冬抵抗もなく灼熱の土押しあげて小さき  
芽萌ゆ  
潮風に吹き揚げられて抗わぬ鳴は黄の口結び  
て飛べり  
小鳥二羽つがいなるかもビビビと言葉交わ  
しつ庭に降りくる

本多玲子



### 「こすど短歌会」

素直さが心配になる親心  
遠慮して素直に受ける笹だんご  
素直には乗れぬ話に苦笑い

栗原ひさし

### 「こすど短歌会」

四歳になりし男の孫吾が足や肩をさすりて類  
すりよする  
長き冬抵抗もなく灼熱の土押しあげて小さき  
芽萌ゆ  
潮風に吹き揚げられて抗わぬ鳴は黄の口結び  
て飛べり  
小鳥二羽つがいなるかもビビビと言葉交わ  
しつ庭に降りくる

本多玲子

### 「こすど短歌会」

ゴールデンウィーク補聴器着けてみる  
蛤の酒蒸し賞でつ女客  
子ばなれの越えねばならぬ花は葉に  
川波を繋いでつくす春庭  
娘の家の客となりたる朝寝かな  
たもの木に土鳩のなくや暖かし  
露地香れてよりくらなしの匂ひかな

吉田ミナ  
佐久間久子  
田中美根子  
吉田素奈  
藤井 春  
成田水村  
牧野信雄

### 「こすど短歌会」

素直さが心配になる親心  
遠慮して素直に受ける笹だんご  
素直には乗れぬ話に苦笑い

栗原ひさし

### 「こすど短歌会」

四歳になりし男の孫吾が足や肩をさすりて類  
すりよする  
長き冬抵抗もなく灼熱の土押しあげて小さき  
芽萌ゆ  
潮風に吹き揚げられて抗わぬ鳴は黄の口結び  
て飛べり  
小鳥二羽つがいなるかもビビビと言葉交わ  
しつ庭に降りくる

本多玲子

### 「こすど短歌会」

ゴールデンウィーク補聴器着けてみる  
蛤の酒蒸し賞でつ女客  
子ばなれの越えねばならぬ花は葉に  
川波を繋いでつくす春庭  
娘の家の客となりたる朝寝かな  
たもの木に土鳩のなくや暖かし  
露地香れてよりくらなしの匂ひかな

吉田ミナ  
佐久間久子  
田中美根子  
吉田素奈  
藤井 春  
成田水村  
牧野信雄

### 「こすど短歌会」

素直さが心配になる親心  
遠慮して素直に受ける笹だんご  
素直には乗れぬ話に苦笑い

栗原ひさし



## 文芸欄